

生 衛 ふ く し ま

2026.1
VOL.176

●発行／(公財)福島県生活衛生営業指導センター 福島市三河南町1-20 コラッセふくしま 7階 ☎ 024-525-4085 FAX 024-525-4086



～磐梯山(猪苗代町)～

〈176号の内容〉

- 年頭のご挨拶
- 第49回福島県生活衛生大会が開催されました
- 受賞おめでとうございます
- 福島県食品生活衛生課からのお知らせ
 - ・冬における室内の空気環境について
 - ・ノロウイルス食中毒の予防を徹底しましょう
 - ・「ふくしま HACCP (ハサップ)」のご紹介
- 令和7年度クリーニング師研修・業務従事者講習を実施
- Sマーク街頭啓発活動を実施
- 日本政策金融公庫よりお知らせ

年頭のご挨拶

(公財)福島県生活衛生営業指導センター

理事長 菅野 豊



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、日頃より当指導センターの事業運営に格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、食料品を始めとした仕入れ価格の高騰のほか、主食であるコメの急激な値上がりも加わったことから、飲食店を始め宿泊業など極めて多くの事業者に大きな影響が生じました。また、春先から突如沸き上がったトランプ関税によって世界経済が振り回され続け、貿易を中心とした経済の先行きも懸念されています。

さらには地球温暖化による異常気象の影響が10月に入ってもなかなか気温が下がらない状況が続く、各地において例年を大幅に上回るクマの目撃情報や被害が

相次ぐなど、懸念すべき状況が数多く見られました。

さて、今年は「丙午(ひのえうま)」、「丙」は十干の3番目で、芽が成長し、葉が広がり成長が著しい状態を表していると言われていきます。また、「午」は十二支の7番目の馬を表していますが、馬は前向きなエネルギー、成功、繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれてきました。

なかなか上向かない経済状況の回復に向けて、「丙午」の今年が経済や国民生活に新たな風を呼び込んでくれるであろうことに期待していききたいと思えます。

結びに、皆様方の益々のご繁栄とご健勝をお祈りいたしまして、年頭に当たってのご挨拶といたします。

共に創る福島未来

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、経営の健全化や衛生水準の維持向上はもとより、県民に安心で快適なサービスの提供に努められておりますことに、改めて敬意を表します。

震災と原発事故から間もなく15年の節目を迎えようとしております。この間、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は着実に復興への歩みを進めてまいりました。

昨年は、全国新酒鑑評会において、3年振りに金賞受賞数日本一に返り咲いたほか、東京2025デフリンピックでは、本県復興のシンボルである「ヴィレックス」においてサッカー競技が開催されるなど、明るい話題が続きました。

また、大阪・関西万博などを契機として、本県の復興状況や様々な魅力を国内外に広く発信することができました。

このような中、避難地域では、特定帰還居住区域において、除染等が進められているほか、震災後、55の国・地域で行われている県産農林水産物の輸入規制が5つの国・地域にまで減少するなど、これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となって現れてきております。

一方で、原子力災害に伴う様々な課題に加え、急激に進む人口減少など、いまだ複雑で困難な課題が山積していることから、今後も本県の復興・再生と「福島ならでは」の地方

創生の実現に向け、全力で挑戦を続けてまいります。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましましては、令和8年度から第3期復興・創生期間がスタートします。このため、避難者の帰還や生活環境の整備、産業・生業の再生、風評の払拭と風化の防止などに取り組むとともに、復興の進捗に伴って生じる新たな課題やニーズにもきめ細かく対応してまいります。

また、地方創生、すなわち人口減少対策につきましましては、昨年、「ふくしま共創チーム」を設立したところであり、オールふくしまで共に考え、共に挑戦することにより、持続可能で豊かなふくしまを目指してまいります。

今年は、福島県が誕生して150年という本県にとって非常に重要な年です。

この節目の年に開催する、「ふくしまデスティネーションキャンペーン」や「大ゴッホ展」を通じて、国内外の多くの方々に復興が進む「福島は今」と本県の魅力を「見て」「触れて」「感じて」いただけるよう準備を進めてまいります。

今後も、県民の皆様と共に、挑戦を続けてまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人福島県生活衛生営業指導センター及び生活衛生関係事業者の皆様益々の御活躍と御健勝を心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。

明けまして
おめでとうございます
本年もよろしく
お願い申し上げます

(公財)福島県生活衛生営業指導センター
理事長 菅 野 豊
福島県興行生活衛生同業組合
理事長 阿 部 泰 宏
福島県クリーニング生活衛生同業組合
理事長 芳賀沼 栄 一
福島県理容生活衛生同業組合
理事長 村上 良 明
福島県美容業生活衛生同業組合
理事長 五十嵐 康 之
福島県公衆浴場業生活衛生同業組合
理事長 藤 原 榮 二
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
理事長 小井戸 英 典
福島県飲食業生活衛生同業組合
理事長 藤 原 賢 一
福島県食肉生活衛生同業組合
理事長 秋 元 幸 一
福島県すし商生活衛生同業組合
理事長 根 本 誠三郎
福島県社交飲食業生活衛生同業組合
理事長 鈴木 悦 朗
福島県喫茶飲食生活衛生同業組合
理事長 塩 昭 信
福島県中華飲食業生活衛生同業組合
理事長 日比野 恒 夫

第49回 福島県生活衛生大会が 開催されました

令和7年11月10日、福島市の「コ
ラッセふくしま」において福島県
生活衛生大会が開催され、生活衛
生功労者や生活衛生優良施設の表
彰が行われました。

式典では福島県の菅野俊彦保健
福祉部長から優良施設5施設に県
知事賞が授与されたほか、生活衛
生同業組合連絡協議会の中野竹治
会長からは功労者9名、優良施設
5施設に連絡協議会長表彰が授与
されました。

受賞者19名を代表して渡邊辰夫
様(渡辺理容室・三春町)が謝辞
を述べられました。



受賞 おめでとうございます

長年にわたり生活衛生営業の振興と
業界の発展に貢献され、生活衛生営業
施設の衛生対策に取り組んでこられた
方々が、それぞれ受賞されました。

(令和7年中の受賞、敬称略)

厚生労働大臣表彰 生活衛生功労者

鈴木 正継(いわき市) すし商
大塚 利光(須賀川市) すし商
本山 秀毅(郡山市) 食肉
日比野恒夫(福島市) 中華飲食業

厚生労働省健康・生活衛生局長表彰

若松 武司(いわき市) 理容業
本間 妙子(本宮市) 美容業
稲田 幹夫(いわき市) 旅館ホテル

(一社)全国生活衛生同業組合 中央会理事長表彰

高橋 朋幸(会津若松市) 理容業
堀 幸司(伊達市) 理容業

宮田 明(白河市) 美容業
瓜生 泰弘(喜多方市) 旅館ホテル

(一社)全国生活衛生同業組合 中央会理事長感謝状

林 義功(いわき市) 旅館ホテル

福島県生活衛生優良施設 知事賞

渡辺理容室 (三春町)
株式会社東北たまがわ (白河市)
hair FLOW (会津美里町)
富岡町文化交流センター (富岡町)
守田屋 (郡山市)

福島県生活衛生同業組合連絡協議会長表彰 ・生活衛生関係営業功労者

【理 容】矢内 明(いわき市)
【理 容】児玉 良弘(福島市)
【理 容】田中 雄一(会津坂下町)
【美容業】神保 順子(会津若松市)
【美容業】面川 千秋(いわき市)
【旅館ホテル】高橋美奈子(福島市)
【旅館ホテル】館山友美子(相馬市)
【食 肉】佐川 兼一(いわき市)
【社交飲食業】熊谷 幸子(須賀川市)
・生活衛生関係営業優良施設

【理 容】清野理容 (伊達市)
【理 容】ヘアサロンヤナイ (郡山市)
【理 容】理容カンノ (相馬市)
【美容業】+℃(プラスビシー) (福島市)
【美容業】美容室リーガ (郡山市)

福島県食品生活衛生課からのお知らせ

1. 冬における室内の空気環境について

室内の空気は、暖房の排気や人の出す呼気により二酸化炭素濃度などが増加します。通常は、汚れた空気を換気により外に排出し、外気を取り入れ快適な環境を保っています。

しかし、寒さが厳しくなり窓を閉めきっていると、室内の空気は汚れ、健康被害が生じる場合もあります。

快適な空気環境を保つためにも、1時間あたりおおむね1回は換気をしましょう。

また、冬季は湿度が低いため、室内の湿度も低下します。

湿度が低下すると、のどの乾燥により、風邪やインフルエンザなどに罹患しやすくなりますので、加湿器を使うことが対策として有効です。

ただし、加湿器の掃除を怠ると、加湿器内で細菌やカビが繁殖し、加湿とともに室内にまん延してしまいます。例えば、肺炎を引き起こすレジオネラ属菌に感染してしまう場合もあります。

加湿器は水を溜めたままにはしておかず、毎日一回は清掃しましょう。

このように、冬期間は空気環境に注意が必要です。適正な換気や湿度管理を心がけましょう。

2. ノロウイルス食中毒の予防を徹底しましょう

冬季は、ノロウイルスを病因物質とする食中毒の発生件数の割合が高まる傾向にあります。

ノロウイルスによる食中毒は、1事件あたりの患者数が多く、大規模食中毒になりやすい特徴があることから、食品を取り扱う施設における予防及び感染防止対策は非常に重要です。

ノロウイルスの特徴と予防のポイントを正しく理解し、発生・拡大の予防に努めましょう。

【ノロウイルスの特徴】

- ・非常に強い感染力を持っており、少量のウイルスでも感染する。
- ・加熱（中心部85～90℃で90秒以上）で失活化する。
- ・次亜塩素酸ナトリウムで完全に失活化する。

【過去3年間のノロウイルス食中毒の発生状況（全国）】

発生年	事件数	患者数	1事件あたりの感染者数
令和7年 (1/1～12/1)速報値	342件	11,413人	33人
令和6年	276件	8,656人	31人
令和5年	163件	5,502人	34人

【ノロウイルス食中毒予防のポイント】

HACCPに沿った衛生管理の徹底、必要に応じた計画の見直し、従業員等への周知啓発に努めましょう。特に次のポイントに心がけましょう。

- ① 調理従事者はノロウイルスに感染しないために、日ごろから手洗いを励行し、自らはもちろん、家族の健康状態にも注意しましょう。下痢やおう吐などの胃腸炎症状がある場合には、食品を直接取り扱う作業は行わないようにしましょう。
- ② トイレの後や食品に触れる調理前等は必ず手洗いを行いましょう（2度洗いすることで洗浄効果が高まります）。
- ③ 調理器具などは、洗剤で十分洗浄し、熱湯や次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。
- ④ 加熱して食べる食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。特に、カキなど汚染の疑われる食品は中心温度85～90℃で90秒間以上の加熱を心がけましょう。

【感染拡大防止のポイント】

患者の糞便や吐物からノロウイルスに感染することもあるため、日常の清掃だけではなく、おう吐があった際の対処が重要です。特に次のポイントに心がけましょう。

- ① ドアノブや水道の蛇口など多くの人が触れる場所は、日常的に清掃・消毒を行いましょう。
- ② ノロウイルスは、乾燥すると空気中を漂い、口に入って感染することもあるため、おう吐物などを処理する際は、使い捨てマスク・エプロン・手袋などを着用し、ペーパータオルなどで拭き取った後に次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行いましょう。

★詳しくは、最寄りの保健福祉事務所（保健所）にお問い合わせください。

3. 「ふくしまHACCP（ハサップ）」のご紹介

食品衛生法の改正により、原則として全ての食品事業者がHACCPに沿った衛生管理に取り組むこととなりました。

県では、食中毒や異物混入などのリスクに加え、放射性物質の管理に対応した独自の衛生管理モデル「ふくしまHACCP」を立ち上げています。

「ふくしまHACCP」を導入することで、これまで“何となく”行ってきた衛生管理を“確かな”計画に基づく衛生管理へと改善でき、安全性だけでなく、品質の向上も期待されます。

さらに、県ではスマートフォンやタブレット、パソコンを用いて簡単に操作出来るウェブ版アプリ「ふくしまHACCPアプリ」を提供していますので、是非ご利用ください。

また、「ふくしまHACCPアプリ」導入施設については、ふくしまHACCPポータルサイトで紹介しています。



賃金引上げに関する支援情報

業務改善助成金

問い合わせ先

- ・業務改善助成金コールセンター
0120-366-440 (平日 9:00~17:00)
- ・都道府県労働局雇用環境・均等部(室)



事業場内で最も低い時間給(事業場内最低賃金)を一定額以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資等(機械設備の導入、人材育成・教育訓練や国家資格者によるコンサルティング)を行う中小企業・小規模事業者は、その設備投資等に要した費用の一部を助成する制度です。一定の要件を満たすと、助成上限額・助成対象経費の特例的な拡充が受けられます。

出典：厚生労働省 HP 掲載チラシ「最低賃金・賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援施策」より一部抜粋・加工して掲載
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zigyonushi/shienjigyoku/index.html

…標準営業約款登録推進月間…

Sマーク街頭啓発活動を実施

＜10月27日 福島市のJR福島駅東口広場＞

県理容生活衛生同業組合と県美容業生活衛生同業組合、県クリーニング生活衛生同業組合の組合員の方々に協力いただき、一般消費者に「安全・清潔・安心」の目印である標準営業約款(Sマーク)制度へのご理解を求めてチラシ配布等の



啓発活動を行いました。当日は、全理連マスコット「チョコちゃん」と県クリーニング生活衛生同業組合の新人「クリーニングロボ」も登場し啓発活動を盛り上げてくれました。

～令和7年度クリーニング師研修及びクリーニング業務従事者講習を実施～

今年度のクリーニング師研修及びクリーニング業務従事者講習は、令和7年9月11日(休)にパルセイロいざか(福島市)、11月14日(金)にいわき市文化センター(いわき市)において実施しました。

対象者は、主に福島市、県北、相双、いわき市保健所管内のクリーニング師及びクリーニング業務従事者で、合わせて153名の方が受講されました。

来年度は、主に会津保健所、南会津保健所管内

を対象として開催を予定しております。直近の情報を盛り込むなど研修・講習内容の充実に努めて参りますので、クリーニング業法で義務付けられている3年に1度の受講をお願いいたします。



生活衛生関係営業の皆さまへ
日本政策金融公庫より

経営に役立つ刊行物のご案内

集客力向上

<ご紹介しているWeb・SNS>

- ・Google ビジネスプロフィール
- ・Instagram
- ・LINE公式アカウント

https://www.jfc.go.jp/n/findings/book/dx_web_sns/



事例でわかる！ DX 初めの一步 Web・SNS編

Web・SNSを活用した集客力向上のポイントを、企業事例を交えて解説する小冊子です。

業務効率化・顧客満足度向上

<ご紹介しているITシステム>

- ・予約・顧客管理システム
- ・モバイルオーダー
- ・POSレジ・キャッシュレス決済

https://www.jfc.go.jp/n/findings/book/dx_yoyaku/



事例でわかる！ DX 初めの一步 予約・注文・決済編

ITシステムを活用した業務効率化と顧客満足度向上のポイントを、企業事例を交えて解説する小冊子です。

